PRESS RELEASE

2011 年 1 月 28 日

アラヤ株式会社 と 中国・安徽省柏林庄苑現代農業有限公司 日本における紹介業務の合意書に調印

安徽省柏林庄苑現代農業有限公司（中国・安徽省　代表：苑篠芳）と アラヤ株式会社・東京流行通訊株式会社（東京・目黒区　代表取締役：中嶌重富）は、 安徽省柏林庄苑現代農業有限公司の 事業展開に協力をするという合意書に　調印をした。

【合意の内容】

安徽省柏林苑現代農業有限公司が、中国のモデル農場として拡大発展していくにあたり、農業および伴う事業において、日本から協力を希望する企業や個人への情報提供や紹介業務を、アラヤ株式会社と東京流行通訊株式会社が行う。

【背景】

中国政府は、2010 年の中央農村工作会議による体的な方針の中で、現代農業の発展を重点的に実施することを強調し、特に農業の産業化におけるモデル地区を建設していくことを決定した。
2009 年 2 月に設立された安徽省柏林庄苑現代農業有限公司は、中央政府の方針に沿う形で運営されており、中央政府はもとより、安徽省、県、郷、それぞれより支援を受け、広範囲な規模からのモデル農場の事業を推し進めている。

安徽省は、「5つの向上」に取り組んでいる。

1. トップ企業としての規模と実力の向上
2. 農業の産業化に向けた化学技術レベルの向上
3. 農業の産業化のための加工技術水準の向上
4. 市場における農産物の競争力の向上
5. 農業産業化の牽引力の向上

また、「柏林モデル」といわれる、敷地内の土地を一括運営して活用する農法も用い、現代の農業における模範的なモデルとなっている。

【事業の全容】

安徽省柏林庄苑現代農業有限公司（名称：安徽省柏林庄苑現代農業先端技術モデル農場）は、**「統一的な計画で、周辺に貢献し、県全体に広げ、省全体を動かし、国全体に良い影響を与える」**を全体の目標に掲げ“6大主体産業”を行い、循環型産業体系を構築した事業への取り組みを行っている。

【6大主体産業とは】

『栽培産業』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・主体産業となる稲作と野菜の栽培産業
『種子産業』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・稲作と小麦を主とする種子産業
『畜産業』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・肉牛とガチョウの飼育を主体とした畜産業
『農産物加工業』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・食料と畜産品の加工を主とした農産物加工業
『物流取引』・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・農業関連の物流取引
『レジャー観光等の第三次産業』・・・・・宿泊施設・レジャー施設の建築と整備

【事業計画】

この事業は下記工期をもって整備される。

— 第1工期（2010 ～ 2011 年）
— 第2工期（2012 ～ 2014 年）
— 第3工程（2015 ～ 2017 年）

【所在地：安徽省舒城県柏林郷について】

柏林庄苑は、中国の東に位置する三国志の舞台にもなった安徽省の舒城県北西に位置する。
安徽省柏林庄苑現代農業有限公司は、上海から 480km、南京から 242km、合肥空港から 54km のところにある。

【モデル農場による効果】

・ 経済効果・社会効果

“6大主体産業”の体制を確立させ、化学技術の工程をモデル地区全体に完全に普及させる。
そして技術の習得システムを導入することにより、モデル農場の先端技術と農民の能力レベルを向上させ、農業の産業構造をよりよいものにしていくことにより、農民の収入も安定増加する。
農産物の生産から販売への一貫した流通網を整えることにより、事業にたずさわる農民の意識を向上させて、海外を視野にいれた輸出商品への開発へと順次実現させていく。
これにより人々の生活がより豊かになり、経済的効果・社会的効果が見込まれる。

・ エコロジー効果

生物肥料の普及、生物農薬の使用、科学肥料と農薬の使用量減少など、無公害生産技術を通して大気・水質・土壌を大幅に改善させ、農産物の汚染も抑制する。エコロジカル農業工程・技術をモデルとして応用することで、節水・省エネ・土地有効利用・クリーン生産を実現し、環境保護も視野においた社会的な重要な役割を果たす。

【安徽省柏林庄苑現代農業有限公司について】

＜概要＞

正式名称・・・安徽省柏林庄苑現代農業有限公司(あんきしょうはくりんしょうえんげんだいのうぎょうゆうげんこうし)
代表者名・・・苑篠芳(えんしょうほう)
場所・・・・・・・安徽省舒城県柏林郷(あんきしょうしょじょうけんはくりんごう)
設立年・・・・・2009 年 2 月
規模・・・・用地総面積 ・・・・・・・約 1,000ha(約 10k㎡)
生産量・・・・・・・・・・・・総生産量 8,200,000Kg、お米・小麦 (2009.4～2010.10)
700,000 ㎡の野菜栽培温室と 70,000 ㎡の水産養殖センターは建設中。
2009 年度売上 ・・・・売り上げ 1,275 万人民元(約 1 億 6,500 万円)
純利益 200 万人民元(約 3,600 万円)
労働従事者数 ・・・・・現在 1,180 名(来年さらに 2,950 名を採用予定)
農場内人口 ・・・・・・・計 3,019 世帯、約 15,000 人

＜沿革＞

2009 年 2 月 安徽省柏林庄苑現代農業有限公司 設立
2009 年 12 月 2009 年度全国種糧者に認定
2010 年 1 月 代表の苑篠芳氏が政府から全省糧食生産大規模経営者に選出される
2010 年 3 月 県推薦農村適度規模経営者に選出される

新華社や中央電視台のニュース報道や地方マスコミの報道ににとりあげられた結果、
中央の宣伝部は、このモデル農場に対し高い評価を与えている。

アラヤ株式会社

概要

アラヤ株式会社は、ローカリゼーションを軸に、多言語翻訳、テクニカルライティング、ソフトウェアの組込みUI 翻訳、などをはじめとした企業の海外事業展開に関連したサービスをご提供しています。事業の中心となる翻訳業務は、主に電子機器や家電の取扱説明書、パンフレットやカタログ、ホームページ等の企画から原稿作成、翻訳、編集まで幅広く行っております。世界約50言語、500人を超える翻訳者ネットワークを駆使した多言語ローカライズは、最も得意とする分野です。
現在、国内の大阪支社の他、ドイツ・デュッセルドルフ、中国・大連を拠点に海外にも進出。国境も壁や溝をなくし、グローバルな事業展開を念頭に、企業と他国をつないでいくことを目指しています。

アラヤ株式会社

代表取締役・・・ 中嶌重富
所在地・・・ 東京本社／東京都目黒区中目黒1-1-71 ニールセンビル3F
設立・・・ 2004年4月
社員数・・・ 103人(2011年1月現在)

http://www.alaya.co.jp

沿革

2004. 4 アラヤ株式会社 設立(東京都・目黒区)
2005. 9 アラヤ・ヨーロッパGmbH 設立(ドイツ・デュッセルドルフ)
2006. 9 「56歳での起業。」(中嶌重富 著) 出版
2007. 12 ソニー(株)と本格的な取引開始
2007. 9 大連アラヤ信息科技有限公司 設立(中国・大連)
2008. 3 大阪支社 開設(大阪府・吹田市)
2008. 11 「みたかビジネスプランコンテスト2008」にて 社長・中嶌重富が最優秀賞受賞
2010. 1 「起業適齢期」(中嶌重富 著) 出版
2010. 10 第8回「勇気ある経営大賞」 特別賞受賞

【この件に関するお問い合わせ】

アラヤ株式会社 東京本社 http://www.alaya.co.jp
〒153−0061 東京都目黒区中目黒1-1-71 ニールセンビル3F
TEL: 03−5773−1811(代表)
担当: コーポレートPR 細田知美(ほそだともみ)
e-mail : tomomi.hosoda@alaya.co.jp